

京都大学総合博物館
京都市考古資料館
共同開催

足もとに眠る京都

—考古学からみた鴨東の歴史—



平安時代土馬
(京都大学吉田南構内出土)

The Kyoto University Museum Exhibition

京都大学総合博物館 平成30年度企画展
京都大学文化財総合研究センター設立40周年記念展示・文化財発掘IV

飛鳥～室町時代編

◎京都大学総合博物館会場

2018年 2月14日(水)～6月24日(日)

開館時間＝9:30～16:30(入館は16:00まで)

休館日＝毎週月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

入館料＝一般400円／高校・大学生300円／小・中学生200円

※20名以上は団体料金を適用

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人、70歳以上の方、京都大学学生・教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)

主催＝京都大学総合博物館・京都大学文化財総合研究センター 京都市考古資料館・(公財)京都市埋蔵文化財研究所

後援＝京都府教育委員会 京都市教育委員会

京都大学総合博物館



〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL. 075-753-3272 FAX. 075-753-3277
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

共同開催＝京都市考古資料館にて旧石器～古墳時代編を展示

京都大学総合博物館
京都市考古資料館
共同開催

足もとに眠る京都

—考古学からみた鴨東の歴史—



縄文時代早期の土器
(上終町遺跡出土)

The Kyoto-City Archaeological Museum Exhibition

京都市考古資料館 平成29年度後期特別展示

旧石器～古墳時代編

◎京都市考古資料館会場

2018年 2月14日(水)～6月24日(日)

開館時間＝9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日＝月曜日(祝日の場合は翌日)

入館無料

主催＝京都市考古資料館・(公財)京都市埋蔵文化財研究所 京都大学総合博物館・京都大学文化財総合研究センター

後援＝京都府教育委員会 京都市教育委員会

京都市考古資料館



〒602-8435 京都市上京区今出川大宮東入元伊佐町265-1 TEL. 075-432-3245 FAX. 075-431-3307
<http://www.kyoto-arc.or.jp/museum>

共同開催＝京都大学総合博物館にて飛鳥～室町時代編を展示



◎京都市考古資料館

旧石器～古墳時代編

旧石器～古墳時代の鴨東の歴史を紹介します。

岡崎遺跡では、旧石器時代に生きていた大型哺乳類の足跡がみつきり、周辺に人々の生活していた可能性も考えられています。

縄文時代になると、北白川に集落が時期を追って展開し、

上終町遺跡で早期の建物が、南の追分町遺跡(京大北部構内)では

中期以降の建物や墓などとともに多くの土器・石器が出土し、貴重な研究資料となっています。

弥生時代には、南へと活動範囲は広がり、地形を巧みに利用した前期水田や

中期の墓が吉田二本松町遺跡(京大吉田南構内)でみつきり、

岡崎遺跡でも墓の存在が知られています。古墳時代はさらに開発がすすみ、

吉田では多くの埴輪をとともう首長の墓が築かれ、岡崎では大規模な集落が広がります。

京都市埋蔵文化財研究所と京都大学文化財総合研究センターの調査成果を

あわせて展観することを通じて、このような、鴨東という限られた空間のなかで展開された

長年にわたる人々の営みに触れていただきます。



弥生中期の土器



有茎尖頭器(縄文早期)



吉田二本松古墳群の埴輪



深鉢(縄文後期)



石錘(縄文中期)

★2館連携スタンプラリー

京都大学総合博物館・京都市考古資料館の2館を訪れてスタンプを揃えた方に記念品(両館いずれかのオリジナルクリアファイル)を差し上げます。それぞれ先着1000名、無くなり次第終了。

The Kyoto-City Archaeological Museum

京都市考古資料館

〒602-8435 京都市上京区今出川大宮東入元伊佐町265-1

TEL. 075-432-3245 FAX. 075-431-3307

http://www.kyoto-arc.or.jp/museum



【交通案内】

●バス:「今出川大宮」下車すぐ／「堀川今出川」下車西へ2分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

背景写真: 京都大学吉田南構内発見の弥生時代前期水田遺構

京都大学総合博物館
京都市考古資料館
共同開催

足もとに眠る京都

—考古学からみた鴨東の歴史—

鴨川の東、比叡山から東山の山麓にひろがる一帯には、1万年前を越える

古い時代から、さまざまな時期の遺跡が地中に残されています。本展覧会

では、その一帯、「鴨東」と呼ぶ地域で積み重ねられてきた発掘調査の

成果を紹介し、歴史の流れをたどります。縄文時代の小さなすまいの

痕跡から、壮大な古代寺院、そして中世貴族たちの屋敷跡や生活を物語

る品々など、私たちの足もとに眠るさまざまな文化財をご覧くださいながら、

身近な地域のあゆみに思いを馳せる機会となれば幸いです。



北白川廃寺の軒瓦(飛鳥～奈良時代)



黄釉陶器(鎌倉時代)



青銅火舎香炉(平安時代)



無文銀銭(飛鳥時代)



銅銭(奈良時代)

吉田キャンパスが位置する鴨東の古代～中世の歴史を物語る資料を展示します。

文化財総合研究センターが発掘調査をおこなっている構内の遺跡からは、

奈良時代の貨幣や土器、平安時代梵鐘鑄造遺構出土の鑄型や道具類、

吉田泉殿など鎌倉～室町時代の邸宅や屋敷跡から出土した

軒瓦や各種の土器・陶磁器類を紹介します。これらに加えて、

7世紀にさかのぼる巨大寺院の北白川廃寺やその下層の飛鳥時代集落、

平安後期の院政期の栄華を象徴する白河街区と六勝寺、といった大学周辺の遺跡について、

総合博物館収蔵品や京都市埋蔵文化財研究所の発掘調査による資料も陳列し、

飛鳥時代から室町時代に至るまでを通した

地域の動静を体感していただきます。



中世の食器・道具類

関連講演会 [申込不要、先着順]

第1回 5月19日(土)

千葉 豊(京都大学文化財総合研究センター准教授)「足もとの歴史を探る—京大構内発掘40年のあゆみ—」

村上由美子(京都大学総合博物館准教授)「縄文時代の巨木の発掘と研究—北白川追分町遺跡の調査成果から—」

第2回 6月2日(土)

竹村恵二(京都大学大学院理学研究科教授)「遺跡発掘と自然科学—考古学とつきあって—」

第3回 6月9日(土)

五十川伸矢(鑄造遺跡研究会会長)「梵鐘鑄造遺構の発掘調査から始まった梵鐘鑄造技術の研究」

第4回 6月16日(土)

吉江 崇(京都大学大学院人間・環境学研究科准教授)「中世公家の伝領と吉田地域—勧修寺家本「御遺言条々」を中心に—」

*会場・時間はいずれも京都大学総合博物館本館3階講演室にて、13:30～15:00

*参加無料(ただし、博物館への入館料は必要)

The Kyoto University Museum

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-3272 FAX. 075-753-3277

http://www.museum.kyoto-u.ac.jp



【交通案内】

●京阪電車「出町柳駅(でまちやなぎまき)」下車徒歩約15分
●バス「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約2分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

背景写真: 京都大学西部構内発見の鎌倉時代建物跡

